

取扱説明書

Instruction Manual

ステンレス真空デシケータ

DVS-250

DVS-310

目 次

安全にお使いいただくために . . .	P. 2～3
製品外観仕様	P. 4
運転方法について	P. 5
お手入れ・メンテナンスについて .	P. 6
製品保証・お問い合わせ	P. 7



ご購入ありがとうございます。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために『取扱説明書』をお読み
になって、正しくお使い下さい。

『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られるところ
に大切に保管して下さい。また、製品を譲渡されたり、貸与されるときには新しく使用
者となられる方が安全で正しい使い方を知るために『取扱説明書』を製品本体の目立つ
ところに添付して下さい。

アズワン株式会社

●安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って安全にご使用いただくようお願い致します。

●警告表示とその意味

 危険	誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が、切迫して生じる事が想定される。	 注意	誤った取扱いをすると、傷害を負う危険および物的損害のみの発生が想定される。
 警告	誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険性が想定される。	 お願い	安全を確保するために注意が必要な事項

また、注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

●安全確保の図記号

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項を示す。		機器を分解および改造することで感電などの傷害が起こる危険性がある場合の禁止を示す。
	特定の条件下で、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止を示す。		機器の特定部分に指を挟み込む危険性の注意を示す。
	特定の条件において、感電の危険性の注意を示す。		特定の条件において、機器の転倒による傷害の危険性の注意を示す。
	安全アース端子付の機器の場合、使用者にアース線の接続の指示を示す。		特定の条件において、高温による傷害の危険性の注意を示す。
	特定しない一般的な使用者の行為の指示を示す。		特定の条件において、破裂の危険性の注意を示す。

●設置上の安全に関する注意

 警告	
	・ 60℃以上の高温物体（乾燥機等）に接近しないところでご使用下さい。 ・ 近くに引火性の固体・液体・気体のないところでご使用下さい。 ・ 周囲温度が 5～35℃以内のところでご使用下さい。
 注意	
	下記の条件を満たすところでご使用下さい。 ・ 水平で安定したところ ・ 直射日光のあたらないところ ・ 湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ ・ 紫外線光源のないところ

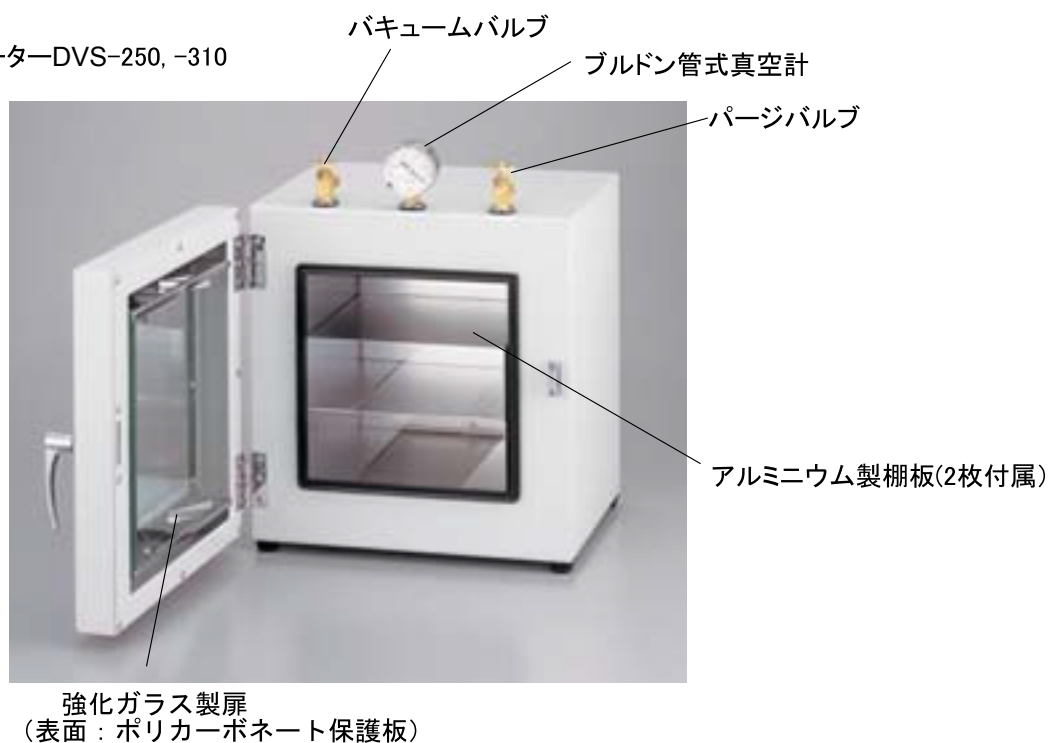
※本製品を屋外で使用することはできません。

●使用上の安全に関する注意

 警告	
	・ 改造、分解はしないで下さい。改造、分解したものを使用して事故が起きた場合、当方は責任を負いかねます。
	・ 本製品は、耐加圧構造にはなっておりません。絶対に加圧しないで下さい。 ・ 急な減圧や減圧中に外側より強い衝撃を与えると破損する恐れがあり危険です。
	・ 扉の開閉はゆっくり行ってください。乱暴に扱うと破損してケガをする恐れがあります。
	油逆流注意 減圧が終了し、ポンプの電源を切る際には必ず、バキュームバルブを閉じて、ホースをコックから抜く等して吸引側を大気圧に戻してから電源を切ってください。 油回転ポンプの場合、ポンプの吸引側が減圧されたまま電源を切ると、ポンプの油が逆流することがあります。
	溶剤等の注意 本製品の減圧用パッキンにはシリコンゴムを使用しております。 シリコンゴムを侵すような薬品、溶剤類を含んだ試料を使用されますと、パッキンが変質・破損することがあります。ご注意ください。
 注意	
	真空バルブの締め過ぎ注意 真空バルブは締め過ぎないようにしてください。特にハンドルがストップした状態での増し締めは絶対に避けてください。 過度な力で締めることでバルブの破損につながり、気密不良の原因となります。 ※バルブ破損による気密不良の場合、バルブの交換が必要ですので 弊社テクニカルセンターまでご相談ください。 (ただし保証対象外であり、有償での対応となります)

●外観

■ ステンレス真空デシケーターDVS-250, -310



●仕様

	DVS-250	DVS-310
許容真空度	0.1～101kPa (1～760Torr)	
容量	15L	30L
バルブ口径	外径φ13mm	
外装	スチール焼付塗装	
内装	ステンレス(SUS304)	
扉	強化ガラス+ポリカーボネート保護板	
パッキン	シリコンゴム	
外寸法	384X414X493	444X474X553
内寸法	250X250X250	310X310X310
重量	23kg	32kg

●運転方法について

- ①庫内に棚板を設置し、試料を置いてください。



十分スペースをあけて試料を配置して下さい。

- ②扉をしっかり閉めてください。

- ③真空ポンプをバキュームバルブに接続し、減圧してください。

減圧にする際にはバキュームバルブを開き、パージバルブを閉じてください。
真空漏れが無いことを確認後、真空ポンプの電源を投入し、減圧してください。



真空バルブは締め過ぎないようにしてください。特にハンドルがストップした状態での増し締めは絶対に避けてください。
過度な力で締めることでバルブの破損につながり、気密不良の原因となります。

※バルブ破損による気密不良の場合、バルブの交換が必要です。
弊社テクニカルセンターまでご相談ください。
(ただし保証対象外であり、有償での対応となります)



減圧が終了し、ポンプの電源を切る際には必ず、バキュームバルブを閉じて、ホースをコックから抜く等して吸引側を大気圧に戻してから電源を切ってください。
油回転ポンプの場合、ポンプの吸引側が減圧されたまま電源を切ると、ポンプの油が逆流することがあります。

- ④乾燥終了後または試料を取り出す際にはパージバルブを開けて大気圧に戻してください。



パージバルブを開ける際にはゆっくりと少しずつ開けてください。
突然パージバルブを開放すると、内部試料が飛散する原因にもなり危険です。



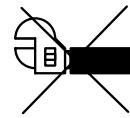
清掃は水を硬く絞った柔らかい布で拭いて下さい。取れにくい汚れは中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭き取って下さい。

● 末永くお使いいただくために

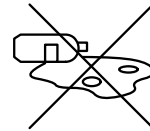
●製品には保管者、管理責任者を決め、使用状態の履歴を取られることをおすすめいたします。



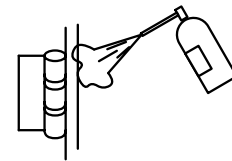
●破損やけが、など事故の恐れがありますので、分解、改造は絶対に行わないでください。



●作業が終了したら必ず庫内の清掃を行ってください。庫内にこぼれた試料や薬品はかならずふき取ってください。



●長年使用しておりますと扉の動きが悪くなることがあります。可動部分は市販の潤滑スプレー等で定期的に注油を行ってください。また、ボルトやねじのゆるみによるガタツキが生じたときは、はやめに締め直してください。ゆるんだまま使用すると、本体の破損や転倒などでけがをすることがあります。



●この製品は室内または屋内用です。屋外や水のかかる所などでは使用しないでください。サビや故障、変色の原因になります。直射日光や暖房器具の熱が直接当たる場所や、湿気および乾燥の著しいところで使用は避けてください。変色や変形の原因になります。

製品保証について

保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に右記保証規定（１）に基づく正常な使用状態での故障の節は右記保証規定により修理いたします。

品名	ステンレス真空デシケータ		
型式	DVS-250、DVS-310		
機番			
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	様		
ご住所	TEL：		
取り扱い店名	担当者印		
住所	TEL：		

アズワン株式会社

〈保証規定〉

- (1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 - ・ 誤使用、不当な修理・改造による故障。
 - ・ 本品納入後の移動や輸送あるいは落下等による故障。
 - ・ 火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
 - ・ 接続している他の機器が原因による故障。
 - ・ 車両・船舶等での使用による故障。
 - ・ 消耗部品、付属部品の交換。
 - ・ 本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875
FAX 0120-700-763

問い合わせ
専用URL

<http://help.as-1.co.jp/q>

■修理・校正についてのお問い合わせは

テクニカルセンター

フリーダイヤル  0120-788-535
FAX 0120-788-763

問い合わせ
専用E-mail

repair@so.as-1.co.jp

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。